

系化を図るとともに、個別条例に指針を与えるよう総合条例が制定できなか。

市長 保健福祉分野については既に体系化されており、また地域福祉計画の見直しが中で指針や方向づけを行つており、条例の制定は考えていないが、今後研究していくべき。

山本俊明議員

平成23年度決算から見える今後の財政運営について

議員

①将来安定した市政運営のためには、基金の増加が必要であるが今後どのように計つていくのか。

②長期的に財政運営に影響を及ぼす市債をどのように考えているのかたずねる。

市長

①財政調整基金残高の増加や義務教育施設整備基金残高は過去10年間で増加しており、今後も健全な財政運営を継続し、将来負

担軽減のために基金を増加させていきたい。

②市債の発行は、将来負担を増加させる要因となるので、発行抑制と同時に、利率の高い市債については積極的に一括償還を進め、防災・減災事業等、特に推進すべき事業を実施しても市債残高を増加させないこと基本とし、将来負担の適正化を図つていただきたい。

や学級数を確保し、活力ある学校づくりを進めていくことが必要と考えている。

②学校規模の適正化を早急に実現する必要があり、笠岡市教育審議会での答申をもとに教育委員会で適正化計画を作成する予定である。

議員 適正な学校規模といふのはどのくらいなのか。

教育長 各学年2クラスあたり、1クラス20人から30人を考えている。

笠岡の学校教育について

議員

①島地部の学校において、島の状況と将来像を踏まえた上で、ベストの姿はどうあるべきかたずねる。

②子供たちに良好な教育環境を提供するための今後の計画をたずねる。

教育委員長職務代理者 ①

学校は、子供たちに集団生活の中で学力はもとより自立心や社会性を育て、たくましく生き抜く力を身に付けてきるべきであり、このために、適正な児童生徒数



樋之津倫子議員

認知症予防対策について

議員 鳥取県琴浦町を参考

に、タツチ・パネル式コンピュータによる認知症予防の取組をしてはどうか。

市長 現在、笠岡市地域包括支援センターが「いきいき百歳体操」を行つており、民間駐輪場とのバランスをこれにより認知症予防に努め、また、認知症になつてから検討したい。

このように認知症予防に努め、また、認知症になつてから検討したい。これにより認知症予防に努め、また、認知症になつてから検討したい。

離島振興法改正にあたつて

議員 今回の法改正をもとにどのような振興策を考えているのかたずねる。

市長 笠岡諸島振興計画(案)を策定中であり、その中で生活支援や観光の振興等を検討している。

公共交通の整備について

議員 ①バス路線廃止等に

より支障が大きい住民をどのように守つていくのか。

②新しい形態も含めた政策転換を他市を参考に行うべきと思うが、いかがか。

市長 ①代替運行路線については、交通空白地が生じ

ないようにして、障がい者の方への笠岡市バス無料券等の継続も依頼しているところである。

②バス路線の状況や地理的条件等を踏まえて検討してみたい。



駅前駐輪場